慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	肝障害イヌ尿の高速液体クロマトグラフィー
Sub Title	
Author	安部, 代司子(Abe, Yoshiko) 小林, 恵理子(Kobayashi, Eriko) 鈴木, 教子(Suzuki, Noriko) 金子, 明子(Kaneko, Akiko) 藤江, 忠雄(Fujie, Tadao) 永田, 佳子(Nagata, Yoshiko) 松島, 美一(Matsushima, Yoshikazu) 高井, 信治(Takai, Nobuharu) 渡辺, 俊文(Watanabe, Toshifumi) 大坪, 修(Otsubo, Osamu)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1986
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.31 (1986.) ,p.92- 92
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000031-0098

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

クロマトグラムピークの内，2つの画分を分離した。紫外吸収スペクトルの 230 nm 以上の部分は，それぞれ，尿酸，馬尿酸のスペクトルに一致した。また，順相，逆相 HPLC の保持時間も一致した。

* 東京大学生産技術研究所

肝障害イヌ尿の高速液体クロマトグラフィー

安部代司子，小林恵理子，鈴木教子，金子明子，藤江忠雄，永田佳子
松島美一，高井信治*，渡辺俊文**，大坪　修**

〔日本薬学会　第106年会（1986年4月，千葉）で発表〕

高速液体クロマトグラフィー（HPLC）により生体成分，体液の多成分同時迅速分析を行い，そのパターンにより診断をする試みが多く行なわれるようになった。しかし，肝疾患診断に尿のHPLC分析パターンを利用する試みはまだない。その可能性を検討するため，正常および実験的肝障害のイヌの尿の分析を行った。

その結果，次の HPLC 条件により再現性のあるクロマトグラムを得られることが分かった。島津 LC-3A 形 HPLC システムを使用，検出は 254 nm 吸収によった。カラムサイズは 4 mm I.D×250 mm，充塡剤は陰イオン交換樹脂（日立ゲル #3013-N）。試料注入後，純水から 0.25 M 過塩素酸アンモニウム-アセトニトリル（85：15）2%/min でグラジエント溶離した後，20 分間最終溶離液で固定し溶離した。流速を 0.8 ml/min とし，カラム温度は測定中 60℃ に保った。

試料とした尿は採取後 0.45 μm のミリポアフィルターでろ過，−20℃ で凍結保存した。分析直前 37℃ の湯浴で解凍，ミリポアフィルターでろ過，HPLC で分析した。

* 東京大学生産技術研究所
** 東京大学医科学研究所

Multicomponent Analysis of Urine of Dogs with Liver Diseases by High-performance Liquid Chromatography

安部代司子，小林恵理子，鈴木教子，金子明子，藤江忠雄，永田佳子
松島美一，高井信治*，渡辺俊文**，大坪　修**

〔Tenth International Symposium on Column Liquid Chromatography
(1986年5月，San Francisco) で発表〕

Components of urine of normal dogs and dogs with liver diseases were analyzed by means of high-performance liquid chromatography (HPLC), using macroreticular anion-exchange resin with UV detection. The dogs with liver diseases were experimentally